

## 住み手から

建築家の出会いと依頼を決めたきっかけは？

堺さんとは、以前からの友人であり、彼の建築についての考え、ポリシーなど私自身もよく理解をしていました。自宅建築に際しての設計は、堺さん以外には考えられませんでした。

住まいづくりにあたり何を一番建築家に要望しましたか？

鉄筋コンクリート造平屋建にすることにより、いろんな角度からの光を取り込み、家の中でも心地のいい風を感じることでできる建物を要望いたしました。

実際に住んでみての感想を一言

何よりも明るい。それにより家族全員の心までもが日々の生活において前向きになります。また、リビング南側の大窓により、日本の素晴らしい季節感を味わうことのできる自然と調和した住宅だと思います。

堺さんてどんな人？

建築についての情熱がすごい。建築主の要望も聞きつつ、堺さん自身のコンセプトもしっかり持っており、時間をかけて、じっくり話し合いを重ねながら設計を進めてくれます。建築家としてのセンスも素晴らしいと思います。

## DATA

名称	Y邸	設備設計	小西設備設計事務所
所在地	熊本県菊池市	施工	上林工業(株)
用途地域	指定なし	設計期間	2001年10月～2002年5月
構造・規模	鉄筋コンクリート造・平屋	工事期間	2002年9月～2003年5月
敷地面積	1,051.40㎡	総工事費	4,000万円
建築面積	228.72㎡	設計監理料	280万円
延床面積	219.70㎡		(総工事費の7%)
設計監理	堺武治建築事務所	家族構成	夫婦+子ども3人
構造設計	川島構造計画事務所		

# 047 堺 武治 Y邸

光あふれる、自然を感じる家

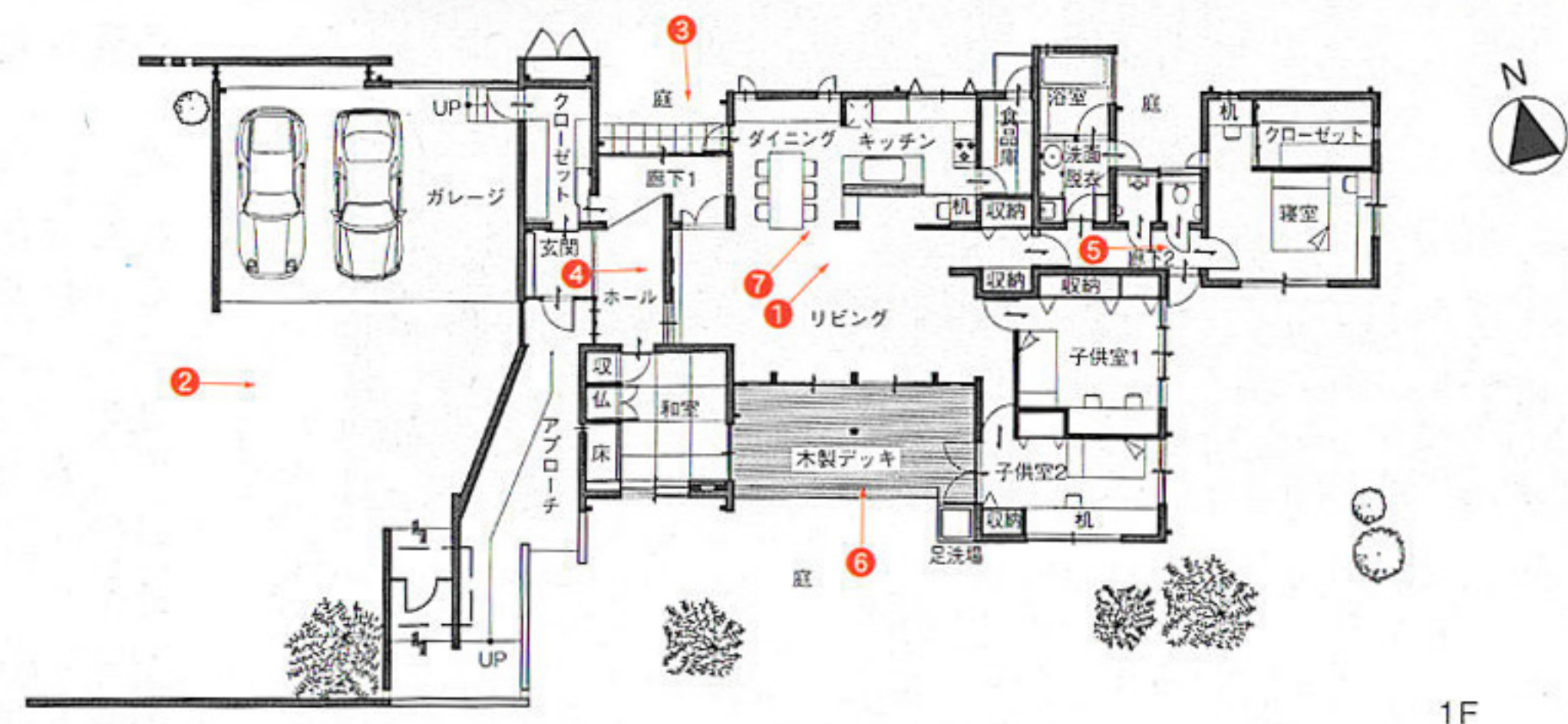
一級建築士事務所 堺武治建築事務所

## 設計者から

敷地は自然豊かな丘陵地にあり、建物を建てるという行為自体が環境に対して後ろめたさを感じるような場所である。この豊かな自然を、建築主からの要望であるコンクリート造の建物の中のできるだけ取り込み、幸せな生活が送れる家がつくれればと考えた。

配置計画としては、高さをできるだけ抑えた平屋とし東西に伸びる配置としている。比較的交通量の多い接道側(西側)は限りなく閉ざし、プライバシーを保護すると共に騒音や西日を遮るようにし、南側は芝張りの庭に向けて開く形をとっている。屋内の仕上げに関してはコンクリートと金属やガラスというシャープな印象の素材だけでは、本能的に人間が欲する安らぎを満たすことはできないと考え「木」を使用することを提案した。

家族が集うリビングは、木造とし柱・梁(構造材)を露出させ、全面ガラス(南面)と吹抜け空間にすることで、アプローチ&エントランスから続くクールなイメージとは違う伸びやかで温かい空間をつくりだそうと考えた。コンクリート打放しの内装であっても、光がふんだんに入るこのリビングは住人に安らぎと開放感を与えている。さらにリビングから屋外へ続く木製デッキを設けることで、屋内外の境界を曖昧にし、室内に居ながらも外に居るような錯覚=自然を感じてもらえるよう意図している。キッチン部分にはガラスブロックのトップライトを設けることで天気や時間の移り変わりが感じることができ、雨の日にはユラユラと水が揺らいているのが分かり五感の刺激を受ける。この家は雨の日でも昼間はまったく照明が必要ないほど明るく、開放的であり、自然の変化を存分に体感できる家だと思う。



①リビングよりダイニングを見る②西側外観(接道側)③北側外観④エントランスホール⑤リビングから寝室への廊下⑥リビング南側の木製デッキ⑦ダイニング・キッチン(①～⑦撮影:堺武治)



さかい たけはる / 1968年熊本生まれ。1993年(株)SDA建築設計事務所入所。1999年堺武治建築事務所設立。